WATERS takeshiba　TAKANAWA GATEWAY CITY　OIMACHI TRACKS

JR 東日本 広域品川圏 News Letter Vol.4

2026年11月吉日

広域品川圏PR事務局

竹芝・高輪・大井町、3つの街が光と音でつながる広域連動ライトインスタレーションイベント

人が歩く、光が応える。触れると音が生まれる。街は鼓動する。

「LIGHTBEATS」

11月19日（木）17:00からLIGHTBEATSを起動する点灯式を実施

JR東日本グループがまちづくりをすすめる広域品川圏（浜松町駅から大井町駅までの東京南部エリア）では、2026 年 11 月 19 日（木）～2027 年 1 月 31 日（日）の期間、広域品川圏内の３つの街、竹芝のWATERS takeshiba、高輪の TAKANAWA GATEWAY CITY 、大井町の OIMACHI TRACKS が、光と音でつながる広域連動ライトインスタレーションイベント「LIGHTBEATS（ライトビーツ～光の鼓動～）」を初開催いたします。

LIGHTBEATS は、光を「見る」だけでなく、来場者の皆さまが「街の光をつくる」イベントです。本イベントは”WALKING（歩く時間）”と、”VIEWING（観る時間）”の 2 つの時間軸で展開される演出プログラムで、来場者は様々に「光」について思いを巡らせて楽しむことが可能です。来場者一人ひとりの動きを「鼓動」と捉え、それぞれの場所で生まれる異なるリズムが街を越えて出会い、重なり、ひとつの大きな街の鼓動をつくりだします。





各街をつなぐ参加型コンテンツ

会場では、来場者の動きに反応するインタラクティブな体験型演出プログラムや、30 分に 1 回、会場全体の照明が連動するショープログラムを楽しむことができます。

各会場には、LIGHTBEATS を象徴するトライアングルやアーチ型のゲートオブジェクト「BEAT PORTAL」を設置します。来場者が通り抜けることで光や音が生まれ、来場者の行動が演出の起点となります。



また、来場者の動きをセンシングし、そのデータを他の２つの街に連動信号を送りあい、光と音により表現するインタラクティブなフロアプロジェクションマッピング「BEAT BEAMERS」も３つの街で楽しめます。

高輪では、噴水の前で泡をかかえるように両腕や身体をうごかすと、その動きに合わせて光・音・水が連動し、指揮者のように噴水とつながることができる演出「BUBBLE FOUNTAIN」など、身体を動かしながら楽しめる参加型コンテンツを展開します。

さらに、Suica タッチを起点とした特別演出発生デバイス「KAZASUICA」では、来場者の Suica タッチで特別な演出を楽しめるほか、3 つの街すべてで Suica タッチをすると発生する特別演出「MAGIC NUMBER（three is）」も楽しむことができます。

“WALKING“と“VIEWING”、２つの楽しみ方

“WALKING（歩く時間）”では、来場者が街を巡りながら、さまざまな参加型コンテンツを体験できます。歩くことや身体を動かすことそのものが、光と音の演出をつくり出す体験へと変わります。一方“VIEWING（観る時間）”では、3 つの街が連動し、光と音が織りなす 30 分に 1 回、5 分間の特別なショータイムを展開します。

来場者一人ひとりの鼓動が街の光となってつながり、高輪・竹芝・大井町の 3 つの街がひとつのビートとして共鳴する、LIGHTBEATS ならではの演出をお楽しみいただけます。“WALKING“、”VIEWING“それぞれを楽しむことで「一人ひとりの鼓動が、ひとつのビートになる」というコンセプトのもと、街全体が一体感に包まれる特別な時間を創出します。

各街の「今」が知れるウェブサイトを開設

各会場情報やショータイムスケジュールはもちろん、KAZASUICA で演出を楽しんでいる来場者の多さを一目で確認できます。来場者の行動によって街の表情が変化する LIGHTBEATS ならではの"街の鼓動"を、Web サイト上でも感じることができます。

※準備でき次第 LIGHTBEATS 公式ウェブサイト（https://greatershinagawa.com/lightbeats）にて公開

LIGHTBEATS を起動する点灯式を実施

LIGHTBEATS の開幕を彩る点灯式は、来場者の皆さまとともに光と音の演出を起動し、3 つの街をつなぐ最初の「鼓動」を生み出します。各会場の照明や演出が一斉に始動し、広域品川圏が光と音に包まれる特別な瞬間をお楽しみいただけます。

また、点灯式終了後は、来場者自身が演出に参加できるさまざまなコンテンツを体験いただきながら、街を巡り、光と音がつながる LIGHTBEATS の世界をお楽しみいただけます。

日　　時：2026 年 11 月 19 日（木）17:00～
開催場所：TAKANAWA GATEWAY CITY　2F 駅前広場 Gateway Park
登 壇 者：バーチャルヒューマン Ria　他
そ の 他　：入場無料

歩く速さも、動くリズムも、感じ方も異なる人々の「鼓動」が、ひとつの大きな「BEAT」をつくりだす…この冬、ナイトイベントの新しい形を提供する広域品川圏にぜひご来場ください。

■LIGHTBEATS 開催概要

主　　催 ：東日本旅客鉄道株式会社（JR 東日本）
開催期間 ：2026 年 11 月 19 日（木）～2027 年 1 月 31 日（日）17:30～23:05（予定）
開催場所 ：WATERS takeshiba（東京都港区海岸 1-10-30）
　　TAKANAWA GATEWAY CITY（東京都港区港南 2-21-1 ほか）
　　OIMACHI TRACKS（東京都品川区広町 2-2-9）
入 場 料 ：無料

★設置コンテンツ詳細

■ BEAT PORTAL



人が通過したときに、光や音が生まれるゲート上のコンテンツです。トライアングル型の「Prism」とアーチ型の「Arc」の 2 種類あります。「Prism」は、光と映像が伝播する反射や放射線的な動きが発生し、「Arc」は共鳴する波紋・円・丸などの動きが発生します。
場所：WATERS takeshiba（Prism を 8 台設置）
　　TAKANAWA GATEWAY CITY（Prism を 6 台設置）
　　OIMACHI TRACKS（Arc を 1 台設置）

■BEAT BEAMERS



その場にいる人の動きをセンシングし、街にいる人同士で光（連動信号）を送りあうフロアプロジェクションマッピングです。その信号が時間と空間を越えて伝播し、共鳴していきます。
場所：WATERS takeshiba
　　TAKANAWA GATEWAY CITY
　　OIMACHI TRACKS

■BUBBLE FOUNTAIN



噴水の周囲にある 3 つの三角形の指揮台の上に立ち腕を振ると、参加者のジェスチャーに反応し、動きに合わせて噴水の高さや色等が変化します。
さらに、参加人数に応じて光の色彩も変化し、一人ひとりのアクションが重なり合うことで、空間全体の演出がつくり出されます。参加者が 1 人の場合は、その人が噴水全体を操作しますが、他の来場者が加わると、それぞれが異なる範囲や色を操作する仕組みとなり、互いに連携してシンクロすることもできます。
3 人の参加者の動きがそろうとフィナーレ演出が発動します。音・光・水が一体となり、参加者自身が演出の主役となって特別な瞬間を生み出す体験型コンテンツです。
場所：TAKANAWA GATEWAY CITY

■**KAZASUICA**

KAZASUICA は、Suica タッチを起点として特別な演出を発生させるデバイスです。来場者の Suica タッチから始まる光と音の演出が、集まった人々の動きと重なり、ダイナミックな演出をつくり出します。いつもの Suica が、街を彩る演出を生み出す鍵となります。



【KAZASUICA 特別演出】 MAGIC NUMBER (three is)

竹芝・高輪・大井町の３つの街を巡ることで体験できる特別演出です。期間中に３つの街すべてのKAZASUICAを体験すると、3 つ目となる街で来場者自身の軌跡を祝福する限定演出が出現します。

訪問する順番は自由。3 つの街をつなぐ旅の軌跡がひとつのビートとなって表現される、LIGHTBEATS ならではのスペシャルモーメントをお楽しみください。

場所：WATERS takeshiba
TAKANAWA GATEWAY CITY
OIMACHI TRACKS

■**PULSE MATCH**

TAKANAWA GATEWAY CITY で取得したデータに基づいて、「レーザー（光）」で通路の天井に「光のリズム」をつくるプログラムです。

MoN Takanawa 方面へ来場者をいざないます。

場所：TAKANAWA GATEWAY CITY



■**Luminous Fir (光を放つモミの木)**

TAKANAWA GATEWAY CITY の 1F 交通広場にあるモミの木をオブジェ通じて象徴的にライトアップし、車で来られるお客さまをお迎えします。

場所：TAKANAWA GATEWAY CITY



＜参考：広域品川圏とは＞



広域品川圏（Greater Shinagawa）とは、竹芝エリア含む浜松町駅から大井町駅までの東京南部エリアを指します。

JR 東日本グループは、各駅を中心に展開するえきまち開発を「点」ではなく、開発が連鎖的に進むこのエリア一体を「都市生活のイノベーションが生まれる先進エリア」と捉えることで、日本・世界に向けて唯一無二のプレゼンスが発揮できると考えています。広域品川圏では、Suica を都市生活における「イノベーション・デジタル基盤」として位置づけ、モビリティーの未来を拓く挑戦（立体 MaaS 構想）等、このエリアのさらなる先進性・エリア価値向上に資する都市生活のイノベーション（LX）を先駆的に起こす取り組みを展開し、このエリアが、昼夜を問わず、世界中の人々が訪れ、滞在し、回遊し、再び訪れていただく、都市循環の構築に貢献していきます。